

銚子川の環境保全に

企画展で集まった募金託す

三重県立熊野古道センターはこのほど、2月13日

日から4月11日まで実施していた企画展、写真と映像が奏でる熊野ネイチャーシリーズその1「銚子川」その清き青に迫る」の会場

で集まった募金1万7693円を、NPO法人ふるさ



古道センターの橋本さんから募金を受け取る田上理事長(左)

の橋本博主任コーディネーターが昨年初夏から約半年掛け、河口から源流まで歩き撮影した自然景観や美しい水中の世界と、水力発電や木材運搬などかつての流域で営まれた人々のふるまいなど、銚子川の魅力を写真と映像で紹介した。会場に募金箱を置き、環境保全への協力を呼び掛けていた。

企画展が終了したことからこのほど、「銚子川清掃活動費や環境教育活動費などに活用してもらいたい」と、環境保全活動を行っている同法人に

寄付。「地域の宝・銚子川がいつまでもみなさまに愛される美しい川であることを切に願っています」とコメントしている。

企画展には同法人からキャンフィン海山に飾っている内山りゅうさんの写真パネルや、銚子川の特徴的な生き物なども貸し出した。同法人の田上理事長は「銚子川の企画展をしていただいたことも、川の課題に気を付けていただいていることもありがたい」と感謝を示した。また、「みんな銚子川が好きで、少しの善意でも役立ててほしいという思いが集まったのだと思う。銚子川でのルールを書いたチラシを作っているが、町が駐車場利用を有料化する方針で、今のチラシでは対応できないので、チラシを更新し、さらに充実する費用に充てたい」と話した。

企画展に関しては、会期中に実施できなかった。橋本さんによる講演会が6月13日(日)に予定されている。12日(土)まで先着100人を受け付けている。申し込み、問い合わせは同センター

(05997・25・266

6)。